

「鬼滅の刃」から読む社会情勢 ～コロナ禍の今 本当の絆をもとめて～



森島豊氏

(もりしま・ゆたか)

青山学院大学准教授。宗学博士(哲学)。専門は『抵抗』。近刊『思想史』ほか。

「鬼滅の刃」の目的は鬼と人間に戻すことだが、戦いの中で鬼が人間性を取り戻す瞬間もある。「意味のあるなしで言う」。

2020年1月頃から日本でも新型コロナウイルスの感染が拡大しており、未だ終息の目途は立っていません。コロナ禍での経営破綻・倒産が各地で相次ぎ、自殺者も例年より増加傾向にあります。この閉鎖的な社会情勢のなかで、ヒットを記録し、経済効果をもたらしている「鬼滅の刃」。何故これほどまでにブームが巻き起こっているのか、人々はなぜ魅了されているのか、「鬼滅の刃」を通して日本の社会を求められているものを読み解くため、青山学院大学准教授・大学宗教授主任の森島豊氏に「寄稿頂きました」。

なぜ人気止まらないのか

2020年コロナ禍の日。本作は閉鎖的な社会で、本で『鬼滅の刃』現象が起きた。すでに様々な売り上げ記録を塗り替え、12月4日発売の最終巻が予約すらできない状態も起きた。この現象は何を語っているのだらうか。冷静に見ると漫画の内容は暗く、ドロドロとしている。鬼が人間を喰らい、家族が目の前で襲われる。むごい場面が多いにもかかわらず、幼い子どもたちは魅了されている。

人間に戻りたい

登場人物たちの生きる世界を一言で表現すれば不条理である。人間の力では抗えない不幸が生まれながら存在する。この点で敵も味方も関係ない。不条理は平等に訪れる。主人公も鬼になった者も、孤児が劣悪な家庭環境または不治の病を患った者だ。「なぜ私がこんな目に」。答えのわからない理不尽な苦しみを主役も悪役も経験している。不条理は彼らの責任ではない。天災であれ人災であれ、不幸は彼らの手を越え、たとえいつかやってくる。その世界で語る彼らの暴言が妙に現実を言い当てている。「意味のあるなしで言う」。

自らが絶った絆

この作品の多くは若者たちから見た生きづらいうる世界を描く。役に立つかどうかで存在価値が計られ、自分で自分を追い詰めている。そこである者は鬼となり、ある者は鬼を倒すものとなる。主役と悪役の違いは紙一重だ。だから主人公の炭治郎は鬼に同情し、理解を示すこともある。その優しさが鬼に忘れていた人間性を取り戻す瞬間を与える。一つのエピソードに注目しよう。蜘蛛の鬼の5人家族が登場する。蜘蛛の糸を操る鬼が求めているのは「つながり」である。彼らは血でつながっておらず、それぞれが家族を演じている。この家族を作った累、という名の鬼は少年であった。人間であったとき生まれながら重い病を患っていた。鬼になることで強い体を得たが彼の両親はそれを喜ばなかった。人を喰わな

一緒にいてくれる他者

累は自分が何をしたらいいのかを最後に思い出す。「僕はあやまりたかった。ごめんさい全部僕が悪かったんだ。どうか許してほしい」。彼にとって許しは自分を受け入れてくれることだった。しかし、地獄に行く彼は両親と同じころに行けない。ところが幻で両親が語りかける。「一緒に行くよ地獄でも。父さんと母さんは累と同じころに行くよ」。幻の中で累は人間の姿となって消えていく。

「鬼滅の刃」

『鬼滅の刃』とは、吾峠呼世晴による漫画作品。2016年11号から2020年24号まで週刊少年ジャンプにて連載され、2019年にはufotable制作でアニメ化された。

舞台は大正時代。炭焼きの家の長男・竈門炭治郎は町へ炭を売りに行ったが、家に帰ると家族が何者かに惨殺されていた。そして一人生き残った妹の禰豆子は鬼になってしまう。炭治郎は妹を人間に戻す為、そして惨殺された家族の仇討ちの為、厳しい訓練の末に鬼狩り組織「鬼殺隊」に入隊する。炭治郎や仲間の、鬼との過酷な死闘を描く和風ダークファンタジー。

子どもからお年寄りまで幅広い層から絶大の人気を誇る『鬼滅の刃』。詳細は公式ホームページにて。

<https://kimetsu.com>

歴代映画興行収入ランキング (興行通信社調べ) 引用

順位	作品タイトル	興収(億円)
1位	千と千尋の神隠し	308.0
2位	劇場版「鬼滅の刃」無限列車編	288.4
3位	タイタニック	262.0
4位	アナと雪の女王	255.0
5位	君の名は。	250.3
6位	ハリーポッターと賢者の石	203.0
7位	ハウルの動く城	196.0
8位	もののけ姫	193.0
9位	踊る大捜査線 THE MOVIE 2 レインボーブリッジを封鎖せよ!	173.5
10位	ハリーポッターと秘密の部屋	173.0

10月16日全国公開された『劇場版「鬼滅の刃」無限列車編』。8週目となる12月5日、6日の興行成績が発表され、累計興行収入が288億円を突破しました。累計観客動員数は2,152万人を超えています。興行通信社の歴代ランキングによれば、興行収入288億円はタイタニックの262億円を超え、歴代1位の「千と千尋の神隠し」308億円に迫る記録となっています。